

## 超えていけ、私たちを

いまのわたしたちの社会が、環境問題、人権問題、平和の問題、グローバリゼーションの問題、情報化の問題、高齢化の問題など、国際的な視点からもさまざまな課題を抱えていることは、誰しも思うことである。人類共通の課題と呼ばれるこれらの問題に取り組み、そして国際社会で共に問題解決をはかる意欲と方法論を持った次の世代の育成が、教育に課せられた使命である。

環境の視点から言えば、わたしたち先進国の社会システム、経済システムを維持継続することは、人類的な自殺行為につながることは明確である。わたしたちが収奪している資源利用にかかるコスト、環境保護のためのコスト、未来の世代へのコストを真剣に考えた上で、現在の意思決定を行うのでない限り、未来はない。

人権の視点からも、現在の社会発展のモデルが、人間存在の基盤であるコミュニティの崩壊につながったり、人が生きることの価値よりも、社会的な経済発展の価値が優先される社会の弊害が現われている。人間は、何のために生きているのだろうか。経済のために人が生きるのではなく、人が生きるの中に経済活動が含まれるのだという優先順位ですら、忘れ去られている。

わたしたちの社会問題の根底に、価値のゆらぎがある。

いま、わたしたちは、人間にとって、そして環境と共生できる「望ましい社会像」を提案できる人間を求めている。社会の枠に子どもをはめるのではなく、一人ひとりが望む未来を実現していく力をつけることが求められている。次の世代に、わたしたちの知らない未来を切り開いていくことを期待して、教育するのだ。

\*この文は、ERIC事務局長 角田の「超えていけ、私たちを」中学校総合学習②「国際理解」、東京法令出版、2000年からの引用です。(一部改)

○これからの教育のキーワード あなたは、ここに何を付け加えますか？

- ・工夫する力
- ・批判的思考
- ・創造的思考
- ・挑戦
- ・参加型
- ・双方向
- ・変化
- ・開拓
- ・常に自己の再構成
- ・価値観とビジョン
- ・超えようとする社会への信頼、協力の気持ちと参加

## 報告 竹台高校 選択科目「国際理解」の取り組み ～年間カリキュラムにゲストを活かす～

1学期は、人権や環境についての概念をアクティビティを通して学びました。その体験を通して葛藤や共感などを味わい、またコミュニケーションに慣れていく中で、自分と世界のつながりも見えてきました。

2学期は、1学期に学んだ概念をさらに深く、そして自分の問題として関連づけるために人・資料などから主体的に学ぶことを主眼にカリキュラムを展開しました。事前事後学習の学習材として資料・データを読み取り、自分の質問をもってゲストを迎え、自分たちの学習を発展させるプロセスによって新たな学びにつながりました。

2000年度、ERICは都立竹台高校2年生の選択科目「国際理解」の非常勤講師として水曜日の3・4時限目(50分×2時限)を担当しています。

### 年間目標

- 1学期. わたしを育てる
- 2学期. 人間関係をつくる
- 3学期. 共通の課題に取り組む

### 2学期のねらい

- アクティビティ・資料・データ・ゲストから人類共通の課題に迫る
- 考え方・学び方を身につける
- 自分との関連について考える

#### 知識

- 様々な国の人々の暮らし
- 環境
- 開発・国際協力
- ジェンダー

#### スキル

- 情報収集力
- 情報から疑問・質問を考える
- 分析力

#### 態度

- 協力
- 探究
- 公正さ

2学期. 人間関係をつくるとは、単にゲストの話聞くということではなく、人と出会い、そしてコミュニケーションを通して多様な文化や社会とつながることを意味しています。

### 竹台高校 選択「国際理解」 2学期実施カリキュラム

第1回	情報と世界の出来事	第8回	ERICの国際理解教育/ ジェンダーって何?
第2回	人口増加と様々な問題	第9回	開発と女性 ゲスト: 協力隊を育てる会
第3回	アジアの子ども絵日記展見学	第10回	わたしがわたしらしく 生きるために
第4回	人口と森林資源	第11回	市民による海外協力 ゲスト: NGO シャプラニール
第5回	タンザニアの林業と森林 ゲスト: JICA	第12回	学んだことをまとめよう
第6回	中間まとめ	第13回	3学期に向けて
第7回	コミュニケーション/協力		

## 教育力向上講座 (TEST) 3月24-26日

ERICと参加者の双方が、これからの教育力とは何かということを実験に議論するための3日間です。

今年のテーマは、「総合学習のカリキュラムの内容をつくる」です。

特に総合学習への取り組みが遅れていると言われる中等教育において生徒が本当に学びたいこと/教師が本当に取り組みたいことを考え、カリキュラムの内容をつくっていきます。

来年度の取り組みは、ERICで、そしてみんなでつくってまいりましょう!

研修時期：2001年3月24日-26日 参加費：30000円

場所：ERIC (JR田端駅より徒歩5分)

教育力向上講座 (TEST) への参加申し込みは、P8をご覧ください。

申込先

FAX 03-3800-9410

E-mail:eric-net@try-net.or.jp

研修部まで

ERIC 中等教育における総合学習のモデルカリキュラム

	1年目	2年目	3年目
1学期	消費者として	生産者として	経済 起業家として
2学期	家族とわたし	労働とわたし	社会 市民としてのわたし
3学期	調べ学習	調べ学習	調べ学習

### 2001年度のERIC主催研修は？

ERIC主催研修は、みなさんのニーズや社会の変化に対応しながらつくられます。

来年度に、ERICとともにこのようなテーマから教育について考えたいというご意見がありましたらぜひERICまで御一報ください。可能な限りプログラムに反映していきます。

現在、計画されている主催研修は以下の通りです。

- ・多様性教育と国際理解教育
- ・持続可能な社会を目指した教育
- ・「親・教師・地域の危機」  
～10代との対立を超えるために～
- ・人権尊重文化をつくる
- ・女性に対する暴力～歴史的・社会的な視点から考える～
- ・地域から考え、わたしと社会をつなぐ参加型学習
- ・教育力向上講座 (TEST)

#### 主催研修 5つの特徴

- 一年間を通して国際理解教育の全体にせまる
- 集中研修
- ERIC独自の参加型「気づきから築きへ」プログラム
- 研修+テキスト
- ファシリテーターとしての実践の場

## 2000年度 主催研修のお知らせ

1月

「M.E.E.T.ザ ワールド」  
国際理解教育プログラム (9セッション=18時間)  
(海外派遣ボランティア育成コース含む)

日時：2001年1月 19-21日 (第3金、土、日)

場所：ERIC国際理解教育センター4F  
(JR山手線 田端駅北口5分)

テキスト：『参加型で伝える12のものの見方・考え方』他

内容：参加型による国際理解教育をどのように実践していくかを考える18時間。語学教育と国際理解教育、ボランティアなど他の研修にはない切り口からせまる

募集人数：12名 (最小実施人数5名)

参加費：20000円 (テキスト代含む)

3月

「教育力向上講座 (TEST)」  
(9セッション=18時間)

日時：3月 24-26日 (土、日、月)

場所：ERIC国際理解教育センター4F  
(JR山手線 田端駅北口5分)

テキスト：『未来を学ぼう』他

内容：これからの教育を考え、教育力を高めるスキルを身につける

募集人数：20名 (最小実施人数8名)

参加費：30000円 (テキスト代含む)

◎研修の申込方法 以下の申込書に必要事項を書き込みERICまで FAX、または郵送ください。

参加費の振込順に受け付けいたします。詳しい内容は研修部までお問い合わせください。

また、Emailでも受け付けております。

(Email: [eric-net@try-net.or.jp](mailto:eric-net@try-net.or.jp))

### ERIC主催研修申込書

- ・参加したい研修番号 ( 6. 7. ○をつけてください)
- ・名前 ・住所 ・電話/FAX ・所属/関連団体をお書きください。

研修参加費振込先：郵便振替 00180-5-710744 口座名称 ERIC事務局 (振込日 / / )

■ERIC事務所では第2金曜日午後6:00~8:00 ERIC事務所にて運営会議を行っています。運営会議は開かれた会議を目指しており、現在、教育活動やNGO活動でお困りの方、ERICにご興味のある方、参加型手法を使って課題を解決したい方などどなたでも参加できます。お近くに来られた際などぜひお立ち寄りください。みなさまの参加をお待ちしております。

■事務所 活動時間  
月、火、木、金曜日 午前10:00~午後6:00です。事務所にご来訪の際はご一報いただけると幸いです。

■資料室利用のご案内  
ERIC資料室には、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなどの英文文献1000点以上、人権、環境に関する日本語文献が800点以上あります。みなさまの研究の一助としてご利用ください。  
利用料金：入室料¥500 (コピー付)

■ERIC ホームページ  
<http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>  
Eメール [eric-net@try-net.or.jp](mailto:eric-net@try-net.or.jp)

■書籍購入・研修参加 (ERIC通信購読料) 費用は下記の口座に振込をお願いします。

書籍専用  
郵便振替 00160-3-547794  
口座名称 ERIC  
研修参加費  
郵便振替 00180-5-710744  
口座名称 ERIC事務局